

## 土曜登校なくして／お菓子許可を 松本市議場で模擬議会 松本秀峰生 学校生活を質問・答弁



「議員役」の生徒(手前)の質問  
に答弁する「行政役」の生徒

松本市の松本秀峰中等教育学校3年生約80人が14日、模擬議会を松本市議会の議場で体験した。同校初の試みで、「議員役」の生徒が日頃の学校生活について質問し、「行政役」の生徒が学校側の立場

に立って答弁。質問の趣旨を踏まえて的確に答えたり、相手の立場を尊重したりといった議論の基本を学んだ。

質問は議員役の生徒が事前に通告。「土曜登校をなくしてほしい」との質問に、行政登校は)より多くのことを習得するためにある」と理解を求めた。疲労回復のため「お菓子を持ってくることを許可してほしい」との要望には「食事で糖分を摂取してほしい」と答弁した。

議論中には笑い声が起きたり、感情的なやりとりになりたりする場面も。議員役の生徒からは「少數意見を大切にして」との声もあった。

議長役を務めた内沢一颯さん(15)は「一人一人がしつか

り意見していた」。行政役の花岡遼さん(15)は「話し合うことの大切さと難しさを感じた」と振り返った。

議場内で生徒たちの議論を見守った小宮山淳校長(元信州大学長)は「生徒たちは普段、このように言い合う機会があまりない。ユーモアを交えながら良い経験ができたのではないか」と話していた。

主権者教育の一環で市選挙管理委員会が、議場の活用を学校側に提案した。市議会事務局によると、学校だけで議場を貸し切って模擬議会を開くのは異例という。